

山城しゅんいちを応援する会

しゅんいち通信

第3号

討議資料

2020年1月発行

発行：山城しゅんいちを応援する会

住所：坂城町上五明1248-2

TEL/FAX 0268-82-3955

E-mail

yamashiro.shunichi@gmail.com

あなたとつくる みんなとつくる 未来の坂城



山城峻一
(やましろ・しゅんいち)

〈プロフィール〉

- 1983年9月13日生まれ
- 長野日本大学高等学校卒業、日本大学法学部法律学科、放送大学教養学部教養学科心理と教育コース卒業
- 現在、上田市内の放課後児童クラブの指定管理者などを行っているNPO法人ワークーズコープ職員としても、活動中
- ホームヘルパー2級、児童厚生員2級、放課後児童支援員認定資格、認定心理士

新年あけましておめでとうございます

昨年は、台風19号により長野県を含む各地で甚大な被害がもたらされました。坂城町においては、この台風により初めて避難所を開設する事態となりました。

異常気象が多発し、温暖化が進む昨今、坂城町においても防災・減災対策をなお一層進めていく必要があると感じています。

新しい年が始まりました。台風19号の復旧・復興対策はもちろん、今年は東京オリンピックが開催されます。外国からも多くの方が来日されることでしょうか。その際に、この坂城町にも立ち寄ることもあると思います。私自身も、来町された方に素敵な「おもてなし」が出来ればと思っています。

坂城町議会議員 山城峻一の町政報告

12月議会は12月2日から12月13日まで開催されました。主な内容は、会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定、また台風19号被害に関する補正予算等を審議しました。また、令和元年度台風19号からの復旧・復興に向けた対策を国に求める意見書が出され、可決されました。

なお、今議会では台風19号に関する質問を中心に、13名の議員が一般質問をしました。



活動報告

◇12月定例会(一般質問)◇

～災害時における避難所～

Q.停電時の事前準備はどうだったか？

A.町長：中部電力と災害時の相互協力に関する協定を締結し、非常時にホットラインとして連絡先を双方で確認した。また備蓄資材として、発電機や投光器を備える対策を行った。

Q.村上小学校の停電時の対応は？

A.町長：中部電力とホットラインを通じ、避難所となっている村上小学校体育館の早期電力復旧を要請した。また、村上小学校体育館に発電機や投光器を設置し、照明を確保したほか、携帯電話やスマートフォン用の専用充電器を設置するとともに、避難所運営職員についても村上小学校に配置人数を厚くし、停電対応にあたった。

村上小学校の停電は13日午前1時50分に復旧したが、村上地区全体の停電は続いたことから、13日の午後4時30分から村上小学校を自主避難所として開設。携帯電話等の充電器機の設置を行い、また14日、役場ロビーに充電スポットを設けた。

また村上小学校では停電により断水となったが、災害時連携協定を締結している長野県企業局に応急給水活動を要請し、給水車にて水の提供を行った。

Q.備蓄してある支援物資の状況は？

A.住民環境課長：町内には、坂城地区に1箇所、南条・中之条地区に1箇所、村上地区に1箇所の計3箇所の備蓄体制をとっている。国や県等の基準を参考に避難者数の人口の約1割、1600人分と想定し、関係機関から救援物資が届くまでの2日分を備蓄目標としている。

食料品はクラッカーやクッキー、おかゆ、乳児用粉ミルクを9600食、飲料水は1.5ℓ入りペットボトルで9600ℓを備蓄している。その他避難所用毛布、ブルーシート、発電機、簡易間仕切り、非常用簡易トイレ等を備蓄している。

Q.台風19号の際に避難所における備蓄品の使用状況は？

A.住民環境課長：備蓄品を備蓄倉庫から町職員が各避難所まで運搬を行い配布した。使用数量は、毛布700枚、クラッカー350食、おかゆ600食、保存水224本、ブルーシート400枚。

Q.避難所開設が長期化した場合の対応は？

A.住民環境課長：災害時の連携協定を企業や団体と締結しているため、これら締結先から、食料品や飲料水、資機材、燃料等優先的な供給や、医療救護等について支援を受けられるよう体制を整えている。

Q.避難所を設営し見えてきた備蓄品などについての課題は？

A.住民環境課長：迅速な配布や激しい雨の中運搬した職員の安全面を考慮し、避難所に近いところに備蓄施設があることが望ましいと思われる。

～学校におけるいじめ～

Q.学校現場でどのようにいじめを把握しているか？

A.教育長：担任が児童・生徒の表情の観察、声かけ、友人との関わり方、日記の内容から早期発見、早期対応につなげている。また児童・生徒に行う学校生活のアンケートから潜在化されたいじめの実態把握に努めている。

Q.いじめに対する対応は？

A.教育長：いじめを認知した時の初期対応は、該当する子どもに聞き取りをして、事実確認をし、担任が適切な指導をした上で、学年会、職員会議等で情報共有する。深刻化が懸念される場合、速やかに保護者に連絡、校長や教頭に報告し、いじめ防止対策委員会等において組織的な対応、いじめを受けている児童・生徒を守る行動をする。

◇自主参加研修①◇

開催日:11月13日

場所:東京都 参議院議員会館

内容:「いじめ防止対策推進法について」

『今こそ現場のSOSに応える法改正を』～子どもと先生を守るために～と題した、NPO法人ジェントルハートプロジェクト主催の院内集会に参加しました。登壇者は教育評論家の尾木直樹氏や、いじめ問題研究家でこども六法の著者、山崎総一郎氏、お笑いジャーナリストのたまかつな氏、そしてジェントルハートプロジェクト理事の小森美登里氏の4名。

それぞれの視点からいじめについてコメントがありましたが、コメントの中で特に気になったものが2点あります。それは、「いじめは大人が生み出す(小森氏)」「(いじめ対応を)法律通りにやること(山崎氏)」

「いじめは大人が生み出す」これはその通りではないでしょうか。子どもが自然といじめをするとは考えにくいです。やはり誰かを真似て、誰かから学び、それをするのではと思います。

「法律通りにやる」これもある意味納得です。現在、いじめ防止対策推進法が存在し、また地方自治体においてもいじめについての条例が存在します。その法律や条例には「連携」という言葉が至るところに存在します。つまりは、学校内はもちろん、各機関で協力し合うことが求められていると感じています。

今の学校はどうか。今後の検証課題です。



院内集会にて、配布資料(11月13日)

◇自主参加研修②◇

開催日:12月21日

場所:新潟県新潟市 新潟市総合福祉会館

内容:「生活保護とアルコール問題」

にいがた公的扶助研究会主催の定例学習会に参加しました。この学習会の案内を頂き参加したわけですが、参加者の多くが新潟県内の自治体の職員、特に福祉職でした。

学習会の内容は専門用語が多く、難易度が高いと感じました。用語集も配布されたため何とかその場についていくことが出来ました。

アルコール問題について、上田市には断酒会があり活動されています。では坂城ではどうなのか。また、それについての行政としての取り組みはどうなのか、今後調査をしていきたいと思っています。

最後に、今回の学習会で特に興味深かったことは、自治体職員の有志が定期的集まりを持ち、学習会を開いていることに驚かされました。

今回は自主的に参加した研修会の報告をさせて頂きました

11月の活動履歴

- 1日 育樹祭
こども食堂ボランティアスタートアップ講座
- 2日 村上小学校音楽会
- 5日 六ヶ郷用水組合議会定例会
六ヶ郷用水組合議会全員協議会
- 8日 こども食堂ボランティアスタートアップ講座
- 9日 秋の全国火災予防運動に伴う区民による防災訓練
ねずみ大根まつり
- 12日 大人からのあいさつ運動
- 13日 院内集会(東京都)
- 14日 ゴミ減量化推進街頭宣伝
- 15日 こども食堂ボランティアスタートアップ講座
- 19日 ゴミ減量化推進街頭宣伝
- 20日 議会全員協議会
議会報告会
- 21日 町議会臨時会
- 22日 こども食堂ボランティアスタートアップ講座
議会報告会
- 23日 河川敷ゴミ拾い
- 24日 女と男ふれあいさかき2019

12月の活動履歴

- 2日 町議会定例会開会
議会報編集特別委員会
- 4日 信州子どもカフェ応援プラットフォーム円卓会議(松本市)
- 7日 フードドライブ活動(上田市)
人権を尊重し豊かな福祉の心を育む町民集会
- 9日 一般質問(3回目)
- 10日 大人からのあいさつ運動
一般質問
- 11日 一般質問
- 12日 令和元年度第3回長野県青少年育成指導者・青少年サポーター研修会(松本市)
- 13日 社会文教常任委員会
町議会定例会閉会
下河原地籍農地再生会議
- 17日 後援会報打ち合わせ(長野市)
- 18日 議会報編集特別委員会
- 21日 にいがた公的扶助研究会12月学習会(新潟市)
- 26日 議会報編集特別委員会

◇議会の傍聴について◇

- ・どなたでも傍聴できます
- ・事前の申込みは不要です
- ・議会当日受付をお願いいたします



子どもカフェ応援会議にて(12月4日)

◆特急あさま◆

明けましておめでとうございます。いよいよオリンピック・パラリンピックイヤーとなりました。

98年の長野大会から早22年。今年成人式を迎える若者たちは、スノーレッツを知らないんですね。今年はどんなドラマが生まれるのでしょうか？

(大学の友人 倉地 大より)